



日	曜日	共通 テストまで	11月の主な行事予定
1	月	75日	更衣・冬服期間
2	火	74日	
3	水	73日	文化の日 ③大学別模試校内実施Ⅱ
4	木	72日	
5	金	71日	
6	土	70日	
7	日	69日	第2回英検2次試験
8	月	68日	
9	火	67日	①②第3回課題テスト
10	水	66日	①②第3回課題テスト
11	木	65日	①②進路HR活動
12	金	64日	
13	土	63日	①②進研模試
14	日	62日	
15	月	61日	
16	火	60日	
17	水	59日	
18	木	58日	①②城南塾(午後)
19	金	57日	①②コース選択希望票提出〆切
20	土	56日	
21	日	55日	
22	月	54日	
23	火	53日	勤労感謝の日
24	水	52日	
25	木	51日	学年末・第2学期末考査時間割発表口
26	金	50日	
27	土	49日	③全統フレ共通テスト
28	日	48日	
29	月	47日	①②就職・公務員模試
30	火	46日	

家庭学習時間調査期

## 1・2年生はコース・科目選択を慎重に！

1・2年生は、来年度のコース選択の最終決定の時期がきました。科目選択の仕方によっては進めなくなる進路もでてくるので、担任の先生や保護者の方ともよく相談して決定してください。

### 【1年生が注意するポイント】

- 1 四国内の国公立大学の看護系学部を志望する生徒は文系でも大丈夫。
- 2 栄養系の学部を志望する生徒は、理系が望ましい。（大学での学習に「化学」が必要。ただし、徳島大学は文系からでも受験可能）
- 3 文系で看護系学部を志望する人は「化学基礎」を選択してください。（「地学基礎」では受験できない大学があります）
- 4 理系希望の生徒は、「物理」と「生物」の選択をよく考える。（看護系を志望する人は「生物」、工学部志望の人は「物理」を選択するなど。）
- 5 文系で私立大を受験予定の生徒は、「日本史」と「世界史」、「地理」の選択について志望大学の入試科目を確認しておく。

### 【2年生が注意するポイント】

- 1 文系で、難関大を志望する生徒は「倫理」と「政経」を両方選択する。
- 2 文系で私立大を受験予定の生徒は、「倫理」と「政経」の選択について志望大学の入試科目を確認しておく。

## 3年生は生活を朝型に！

11月になり、いよいよ今年の入試が本格的に始まります。夜は遅くても11時までに寝て、早朝に勉強をする習慣をつけましょう。早朝4時や5時に起きて勉強した事がある人はわかると思いますが、朝の1時間は夜の2~3時間に相当するのではないかと思うくらい集中できます。共通テストは9:30から始まります。その時に脳をフル回転させるためにも、なるべく早く朝型の生活に切り替えてください。現役はこれからまだまだ伸びていきます。毎日の授業を大切にして、第一志望校合格に向けて最後までがんばろう。

## 家庭学習時間調査の結果

月	期間	学年	1週間の学習時間の平均	週16時間以上の割合	週8時間以下の割合
9月	平常授業	1年生	10.6時間(13.7時間)	16.2%(37.1%)	38.9%(26.3%)
		2年生	12.4時間(12.3時間)	32.0%(26.5%)	22.0%(31.8%)
10月	中間考査	1年生	16.8時間(23.0時間)	51.8%(76.7%)	15.4%(2.9%)
		2年生	21.3時間(21.7時間)	71.0%(73.2%)	6.2%(4.1%)

( )は昨年のデータ。9月の結果はよくありません。10月は目標時間を達成していますが、それでも希望の進路実現のためにはまだまだ十分とは言えません。特に1年生が心配です。両学年ともに、テスト期間だけでなく、平常日も【学年+2時間】の家庭学習を心がけてください。（以上 佐伯）

## 共通テストまで50日！

### 各学年の先生方より

1年生	最近、急に寒くなってきたので体調に気をつけて生活していってください。無理をせずに休むことも大切です。さて、11月は課題テストと模試が連続してあります。テスト前の学習はもちろん、テスト後の振り返りや解き直しも意識してみてください。その際、手も足も出なかった問題よりも、勉強をしていたがミスをした問題や、あと少しで解けそうだった問題から優先的に見直すことにより実力の向上につながるので、可能な限り早めに行うようにしましょう。何事に対しても、自分の成長を感じられるとやる気が出ると思うので、出来るようになったことに目を向けて、1日1日を大切に過ごしていきましょう。（埴淵）
2年生	中間考査を終え、今度は課題テスト、進研模試と次々に試験が控えています。宿題などやることがたくさんある、部活の後は疲れて寝てしまう、など忙しい毎日を送っていることだと思います。そんな皆さんから、最近勉強法を聞かれることが多くなりました。皆さんは、「復習」を何回程度していますか？2~3回という答えが多いかもしれません。しかし、4回程度必要だそうです。学習したすぐに簡単に確認したら（これはまだ復習ではありません）、翌日かその次の日に見直しをする（復習①）。次に1週間後くらいに解き直す（復習②）。また1週間くらいたら見直す（復習③）。そしてその3週間くらい後に見直す（復習④）。なかなか大変な作業ですが、悩んでいる人は試してみてはどうでしょうか。秋は「読書の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」など物事にじっくりと取り組む季節です。高2の秋は「勉強の秋」にして実りのある秋にしてみませんか。（小川）
3年生	私はよく、美術部員に対して作品レベルについての説明をする時に一つの公式を示します。それは「能力×熱意×時間=レベル」という公式です。一般的に、美術の分野では生まれつきの才能を含むその人が持つ能力そのものが全てを分けるという認識があるようですが、決してそうではありません。熱意を持って時間をかければ、天賦の才能を持って生まれた人よりも素晴らしい作品を生み出すことも実は十分可能なのです。そして、この言葉は学習や研究、受験勉強といったことには美術以上に当てはまると思います。「3×1×1=3」ですが、「1×2×2=4」なのです。そして、私は前者よりも後者の方が遥かに尊いと思います。皆さんもこの公式を思い出して日々頑張つてください。（神吉）